

パネル
ディスカッション

我が国で高まるサイバー脅威、 「インフルエンソオペレーション」

ネット世論操作ともいえるインフルエンソオペレーションは、「民主主義制度の脆弱性を突く『サイバー攻撃』である」と欧米の安全保障関係者が警鐘を鳴らしており、「世論分断化や、社会システムの弱体化」を招くことが知られています。しかし、「グローバルノース（＝欧米日韓）情報圏」にある我が国ではその脅威が正確に捉えられていないようです。たとえば、2022年3月初旬、PWシンガーなどの識者やメディアは、国際世論でのロシアの劣勢を受けて情報戦でのロシアの敗北を宣言し、日本のメディアや識者もそれに追随しました。しかし、実際にはロシアは我々に見えない領域で影響力を行使していたことが、その後のマイクロソフト社の報告書などで明らかとなりました。

この度、サイバーセキュリティ研究所では「ウクライナ侵攻と情報戦」（扶桑社）、「フェイクニュース 戦略的戦争兵器」（角川新書）の著者・一田和樹先生と、「近未来戦の核心サイバー戦－情報大国ロシアの全貌」（扶桑社）の著者・佐々木孝博先生にご登壇頂き、国際日本学部・田中絵麻先生によるモデレータで、パネルディスカッションを行い、我が国でのインフルエンソオペレーションの脅威について議論します。

2022年

9月20日 火 15:00-17:00

ウェビナー開催

プログラム

15:00～15:10 サイバーセキュリティ研究所 所長挨拶・活動報告

齋藤孝道（サイバーセキュリティ研究所/明治大学理工学部）

15:10～16:40 パネルディスカッション

モデレータ：田中絵麻（明治大学国際日本学部、サイバーセキュリティ研究所）

パネリスト：佐々木孝博（元在ロシア防衛駐在官）

パネリスト：一田和樹（作家、サイバーセキュリティ研究所）

16:40～17:00 質疑応答

詳細情報

参加費：無料 定員：50名（先着順） 言語：日本語

参加推奨：サイバーセキュリティ／サイバーディフェンスの理解を深めたい方

お申し込み

Googleフォーム

<https://forms.gle/KvEpcba1L6Eza3Eb9>

締め切り：9月13日

※こちらのQRコードからもお申し込みいただけます



<主催> 明治大学 サイバーセキュリティ研究所 <https://www.cslab.tokyo>
<お問い合わせ> メール info@cslab.tokyo